

高 岐高だより

第158号

令和7年3月1日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 宮崎征一郎
印刷/ヨツハシ(株)
題字/筑間 敏博

CONTENTS

●「逆算の思考」と「自分への信頼」	学校長……p1
●祝 ご卒業	PTA会長……p2
●卒業によせて	3年次副委員長……p2
●ノブレス・オブリージュ	3年次委員長……p2
●令和7年度コース選択・科目選択の結果	教務部……p2
●人口減少時代を生きる	進路指導部……p3
●大学入学共通テスト自己採点結果	進路指導部……p3
●2025年度大学入試出願状況(現役生のみ)	進路指導部……p4
●大学入学共通テストを振り返って	進路指導部……p5
●強く逞しく	3年次主任……p6
●3年間の思い出	3年次……p6
●3年間皆勤賞・同窓会幹事	3年次……p6
●グローバルリーダー養成事業	進路指導部……p7
●第二回・第三回 学校運営協議会報告	教頭……p7
●部活動の主な成績・活動	特別活動部……p8



▲水垢離▶



「大谷選手はアメリカに行って、打球を強く速く弾き飛ばすことにフォーカスして、『スイングを速くする』ことをやると決

またこのコメントに続いて、次のようなエピソードも紹介されていました。

「大谷選手は昨年、史上初の偉業『50・50』を達成しました。そして翌日の新聞には、かつて日本のプロ野球で大谷選手の監督を務めた栗山英樹さんの次のようなコメントが掲載されました。

「翔平は、できるか、できないかでは考えない。彼の頭の中には『やるか』『やらな

い』か選択肢がないんです。」

「できるかできないかだと、できないかかと思つて、思考が止まってしまう。彼はやるかと決めたら、あとはどうしたら実現できるかを『逆算して行動』する。それだけです。」

ここで改めてその内容を記して、卒業を迎えた皆さんへの「はなむけの言葉」としたいと思います。

大谷選手は昨年、史上初の偉業『50・50』を達成しました。そして翌日の新聞には、かつて日本のプロ野球で大谷選手の監督を務めた栗山英樹さんの次のようなコメントが掲載されました。



校長 石田 達也

「逆算の思考」と「自分への信頼」

め、「筋肉量を増やす」↓「練習方法を変え

る』と逆算して実行した。」

「メジャーリーグに入団した年に体力測定をしたら、大谷選手は垂直跳びを除いて、全項目でトップだった。周囲はそのことを高く評価したが、彼だけは満足していなかった。1ヶ月後に再び測定したら、垂直跳びの記録が30cm伸びていた。彼は少年のように目標を設定し、クリアのため全力を尽くしたのだろう。」

この記事の見出しは「限界を決めず 逆算の思考」でした。そして私は、その思考の源には、大谷選手が揺らぐことなく持ち続けている『自分への信頼』があると強く感じました。

私たちはどうしても「できるか、できないか」「成功するか、失敗するか」と、先のことを不安に思い、挑戦を躊躇したり目標を諦めたりしてしまいがちです。

今後、皆さんには、大谷選手のように「やる」と決めた目標を実現するため、冷静な『逆算の思考』と揺るぎない『自分への信頼』を持つて、もし失敗してもそれを糧にして、常にプラス思考で力強く前へ進んでいってほしいと思います。

卒業後は、新しいステージで新たな挑戦の一步を踏み出していくこととなります。もし不安になったとき、弱気になったときには、岐阜高校で友と切磋琢磨した日々を思い出し、それを勇気に変えて、臆せず挑戦を続けてください。

皆さんが「百折不撓 自强不息の精神のもと、高い志を胸に大きな飛躍を遂げ、将来、日本や世界をリードするグローバルリーダーとして、各分野で大いに活躍することを期待しています。」



祝ご卒業

PTA会長 宮崎 征一郎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間の高校生活はいかがでしたでしょうか？校が満開の三年前の春、希望を胸にして入学した学び舎もついに卒業の時が来ました。多くの皆さんにとって初の入学試験を経験し、多くの仲間たちと共にそれこそ『懸命』に勉強されてきたことでしょう。高校生という多感な歳を同じ学び舎で過ごした仲間は今後の将来において必ずや良き理解者として同志として大切な人となります。

今日まで朝早くから毎日のようにお弁当を作り、子供たちの顔を眺め日々の成長を見守ってきた保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。岐阜高校で課される高いハードルをクリアし、皆が努力する中で我が子は大丈夫だろうかと心配された方も多かったのではないのでしょうか。学び疲れて眠っていた子供たちを叩き起こすのも卒業です。子供たちはその心配をよそに見事に卒業の日を迎えています。

多くの生徒と共に日々悩んで頂いた校長先生をはじめ多くの先生方にも大変感謝しております。ありがとうございます。

卒業生の皆さんはこれから様々な進路を選択されていることと思います。地元を離れ遠くの地で生活をされる方もいることでしょう。でも心配しないでください。何処にいてもどんな時でも私たち保護者はあなたの味方です。新たな世界を思いっきり楽しんで来てください。

卒業によせて

3年次副委員長 近藤 あつみ

ご卒業心よりお祝い申し上げます。高校生活が終わりを迎え、新たな人生のステージへと歩み始める皆さんに祝福の言葉を送りたいと思います。

私自身、高校時代の友人と共に過ごした時間や学びの喜びは、今でも心に深く残っています。私の息子にも同じような経験をしてもらいたいと願っていました。しかし、息子は初めて手にする携帯に夢中になり周囲と交わろうとしませんでした。それでも自分なりのペースで友人とふれ合い、部活動に打ち込み、少しずつ自分の殻を破ることができました。

皆さんも高校生活を通じ、多くのことを学び成長したと思います。この過程で築かれた友人との絆や共に過ごした数々の思い出は、これからの人生においても大切な宝物となるはずです。勉強に打ち込んだ日々、部活動で流した汗、それぞれが目指す目標に向かって努力した経験は、皆さん一人ひとりの成長を支えてくれたものと思います。そして、その努力と頑張りには必ずや報われることと信じています。

今後皆さんを待ち受けているのは、新しい挑戦、出会い、そして成長の機会です。理不尽なことや辛い経験に直面することもあるでしょう。そのような時こそ、自身自身を信じ、力強くして自分らしく進んでいってください。周りには家族や友人がいて、皆さんを応援しています。

最後に、皆さんの未来が輝かしいものとなることを心から願っています。

ノブレス・オブリージュ

3年次委員長 神田 政彦

晴れの門出の日に、どんな言葉をかけたらいいか考えていて、思い当たったのが表題のフレーズでした。直接の意味は「高貴な者、恵まれた立場にある者の義務」というフランス語です。貴族などの身分の高い者はそれに応じて果たさなければならぬ社会的責任があるという道徳観を表す言葉とされています。

皆さんは貴族ではありませんが、大人たちから「岐阜生はかくあるべき」とか「岐阜生ならこれくらいは」的なことを言われたこと、ありませんか？それに対して反発する気持ちを感じたこともあるかもしれません。でもちょっと考えてください、そう言われたのは何故なのか。

150年を超える伝統、整った環境、生徒の熱量に正面から向き合ってくださる先生、いつまでも母校に心を寄せる数多のOB・OG、そして何よりも皆さんの周りにいる学友たち。これら有形無形の財産の中で3年間過ごした皆さんは、間違いなく「とびきり恵まれた人たち」と言えます。

私たちは、そんな皆さんに大きな希望を感じています。皆さんにはその想いに応えられるチカラがあります。どうかそのチカラを自分のためだけでなく、世の中のためにも役立ててください。舞台は目の前に広がっています。

卒業おめでとう。



令和7年度

コース選択・科目選択の結果

教務部



令和7年度のコース選択・科目選択の結果が、12月24日(火)に行われました。その結果、令和7年度は、2年次・3年次ともに理科系6クラスと文科系3クラスで編成されることになりました。

これまで、年次集会での説明や総合的な探究の時間における進路学習などを通じて、自分の将来について考えを深め、最良のコース選択・科目選択ができたことと思います。ぜひ、来年度も岐阜高校での学習に一生懸命取り組んでください。

新2年次生			
理科系コース	男子	女子	計
地理探究	144	103	247
地歴			
日本史探究		35	
世界史探究		16	
理科			
物理		192	
生物		55	
選択A		247	
文科系コース	男子	女子	計
地歴	41	72	113
地理探究		32	
日本史探究		81	
選択A		113	

新3年次生						
理科系コース	男子	女子	計			
地理探究	144	99	243			
地歴						
地理探究		200				
日本史探究		33				
世界史探究		10				
理科						
物理		180				
生物		63				
選択A		243				
文科系コース	男子	女子	計			
地歴	45	67	112			
地理探究		29				
日本史探究		83				
物理基礎		10				
化学基礎		112				
生物基礎		102				
選択A		112				
特論	国語特論	103	数学特論	181	Ac.R&L	206
	地理特論	6	物理特論	24	A c. W	63
	日本史特論	23	化学特論	51		
	世界史特論	37	生物特論	16		

人口減少時代を生きる 進路指導部

3年次生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業の嬉しさと国公立大学の前期試験を無事終了した達成感で、喜びに満ち溢れているのではないのでしょうか。前期試験では3年間、努力してきた成果を十分に発揮できましたか。前期での合格を祈っていますが、中期・後期試験もありますので、最後まで諦めずに、粘り強く頑張ってください。

卒業を迎えた今、岐阜高校での3年間はどのように思い起こされるでしょうか。1年次では、大きな希望をもって始まった高校生活でしたが、当初は授業のスピードや課題に圧倒され、どんなに努力しても、なかなか成果に現れず、自信をなくしたこともあったのではないのでしょうか。しかしながら、少しずつそれを乗り越え、仲間と共に充実した高校生活を過ごしたと思えます。みなさんの高校生活は、岐阜祭をはじめとする多くの行事で、生徒のみなさんが中心となって次々と新しい取り組みが行われ、活気のある3年間だったように思います。

さて、社会に目を向けると、2024年の日本人の出生数は、70万人を割ることです。約50年前の第2次ベビーブームの頃の出生数に比べると、約3分の1になっており、人口減少が加速度的に進んでいます。政府を中心に、その対策が進められています。人口減少が止まるのには、何十年もかかるかと予測されています。そして、現在、人

口減少の影響はいたるところで顕在化しています。みなさんの身近なところでは、鉄道の無人駅が増加しましたし、物流業界の人手不足のために、模擬試験の日程にも影響が出ました。大学生の就職状況については、売り手市場が続いており、いい影響のようにも見えますが、やはり人手不足であることには変わりありません。その対策として、技術は大きく進歩しました。岐阜市内では、一部ではあるものの自動運転バスが導入されましたし、レストランでは、ロボットが商品を運ぶ様子が見られます。今後は、AIを活用した技術が一層進歩するものと推測できます。みなさんのこれからの学びの中でも、技術の進歩に貢献したり、活用したりする場面が出てくるでしょう。一方で、今後が変わらず重要であってほしいと感じているものがあります。それは、人と人との関わりです。人は困難な場面に遭遇したとき、必ず誰かの助けを求めましょう。みなさんは、岐阜高校での3年間で得た仲間がいます。きつと今後の人生で大きな支えとなるときが来るでしょう。岐阜高校の仲間が存在を大切に、みなさんが、これから活躍してほしいと願っています。最後に、みなさんがこの度、めでたく高校卒業を迎えることができたと、これまで支えてくださった保護者の方々のおかげです。その感謝の気持ちを決して忘れず、さらなる活躍を期待しています。

令和7年度入試 大学入学共通テスト自己採点結果 (対全国 平均点比較)

	国語	数学ⅠA	数学ⅡBC	リーディング	リスニング	歴総世探	歴総日探	地総地探	物理	化学	生物	物理基礎	化学基礎	生物基礎	情報Ⅰ	6-8文系	6-8理系
今年度平均点	本校 159.3	76.5	76.7	83.5	82.3	81.8	75.5	72.6	76.8	63.9	72.1	35.7	40.8	38.8	83.8	792.4	778.6
全国	126.7	53.5	51.6	57.7	61.3	66.1	57.0	57.5	59.0	45.3	52.2	24.8	27.0	31.4	69.3	620	630
昨年度平均点	本校 149.4	70.3	75.6	72.7	84.6	78.1	68.2	77.4	81.6	73.0	71.5	39.0	38.1	39.1		667.7	685.6
全国	116.5	51.4	57.7	51.5	67.2	60.3	56.3	65.7	63.0	54.8	54.8	28.7	27.3	31.6		536	556

(数学ⅡB)

(世界史B) (日本史B) (地理B)

総合平均点は河合塾予想 他は2月5日大学入試センター発表値

2025年度 大学入学共通テスト

1月18日(土)、19日(日)に大学入学共通テストが実施され、本校生徒は岐阜大学、朝日大学で受験しました。1日目は快晴で朝は、放射冷却により気温が低くなりました。2日目も大変暖かくなり、天候に恵まれた2日間で、生徒たちは、無事受験することができました。

今年の大学入学共通テストは学習指導要領の改訂に伴い、大きく変化しました。国語や数学では、試験時間が延長され、教科情報が導入され、受験生にとつては負担が増した共通テストでした。一方、難易度は大方の予想通り易化しました。そのような状況の中で、本校3年次生諸君は本当によく健闘したと思います。個人個人を見れば、満足いく結果を得た生徒もいれば、不本意な結果に終わった生徒もいます。が、国立大学前期試験、そして中期・後期試験にむけて2次学力をさらに高め、最後まであきらめずに受験に立ち向かってくれることを切に願います。



2025年度 大学入試出願状況(現役生のみ)

2025年2月12日現在

国立四大

大学名	前期	後期	合計
旭川医大		1	1
北海道大	9	14	23
東北大	6	4	10
秋田大	1		1
茨城大		1	1
筑波大	10	2	12
埼玉大		3	3
千葉大	8	5	13
東京海洋大		1	1
お茶の水女子大		2	2
電気通信大		2	2
東京大	23		23
東京外大	3	2	5
東京学芸大	2	1	3
東京芸大	2		2
東京科学大	6		6
東京農工大	1	3	4
一橋大	2	2	4
横浜国立大	3	12	15
新潟大	1	1	2
富山大	8	2	10
金沢大	4		4
福井大	9	10	19
山梨大		5	5
信州大		3	3
岐阜大	54	38	92
静岡大	3	14	17
浜松医大	4	2	6
愛知教育大		3	3
名古屋大	69	2	71
名古屋工大	12	31	43
三重大		3	3
滋賀大	1	7	8
京都大	38		38
京都工芸繊維大	1		1
大阪大	21		21
神戸大	16	16	32
奈良教育大		3	3
和歌山大		1	1
鳥取大	2		2
岡山大	1		1
広島大	7	6	13
山口大		1	1
徳島大	1	1	2
香川大	1		1
高知大	3		3
九州大	6	4	10
長崎大	1		1
大分大	1		1
宮崎大	2	3	5
琉球大	1	3	4
合計	343	214	557

公立四大

大学名	前期	中期	後期	合計
国際教養大	1	1		2
埼玉県立大	1			1
東京都立大	4		4	8
横浜市立大	1			1
石川県立看護大			1	1
金沢美術工芸大		1		1
敦賀市立看護大			1	1
福井県立大			2	2
長野県立大		1		1
岐阜薬大	7	11		18
静岡県立大		1		1
愛知県立大			1	1
愛知県立芸大			2	2
名古屋市立大	17	9	19	45
京都府立大			1	1
大阪公立大	6	12	4	22
兵庫県立大	1		2	3
神戸市外大			2	2
奈良県立医大			1	1
山口東京理科大		1		1
合計	38	37	40	115

私立四大

大学名	共通	一般	合計
酪農学園大	1	1	2
国際医療福祉大		2	2
自治医大		5	5
獨協医大		1	1
埼玉医大	2	1	3
東京歯大	1	1	2
青山学院大	6	7	13
学習院大		2	2
北里大		2	2
慶応大		49	49
工学院大	4	2	6
国際基督教大		1	1
芝浦工大	3	3	6
順天堂大	3	3	6
上智大	9	6	15
昭和医大	1	2	3
女子美大		1	1
聖心女子大	1		1
聖路加国際大		1	1
専修大	1		1
多摩美大	1	1	2
中央大	19	14	33
東海大		1	1
東京医大		1	1
東京女子医大		1	1
東京造形大	1		1
東京電機大		1	1
東京理大	21	44	65
日本大		2	2

大学名	共通	一般	合計
日本医大		1	1
法政大	6	2	8
東京都市大	1	2	3
武蔵野美大	2	1	3
明治大	29	29	58
明治学院大	1		1
明治薬大	1	1	2
立教大	4	5	9
早稲田大	24	41	65
麻布大	1		1
マリアンナ医大		1	1
横浜薬大		1	1
金沢医大		2	2
岐阜聖徳学園大	4	3	7
岐阜医療科学大	1		1
愛知医大	8	12	20
愛知学院大	1	1	2
愛知工業大		1	1
愛知淑徳大		1	1
金城学院大	2	2	4
中京大	3	1	4
中部大	1	2	3
豊田工大	11	9	20
名古屋外大	3		3
名古屋造形大		1	1
南山大	30	30	60
藤田医大	3	18	21
名城大	32	68	100
名古屋学芸大		1	1
京都女子大		1	1
京都薬大	1	3	4
同志社大	40	127	167
同志社女子大		3	3
立命館大	68	86	154
大阪医薬大	1	2	3
関西大	12	20	32
関西医大	3	4	7
関西外大	1		1
近畿大	5	7	12
関西学院大	10	11	21
兵庫医大		1	1
川崎医大		1	1
福山大	1		1
産業医大	1	1	2
福岡大		2	2
合計	385	660	1045

文科省管轄外など

大学名	共通	一般	合計
防衛医科大学校		2	2
防衛大学校		2	2
合計		4	4

注：総合型選抜・学校推薦型選抜出願者は前期・一般に含む

大学入学共通テストを振り返って（自己採点後の感想文より）

国公立大学（理科）類志望

まず、共通テストを無事終えることができたこと、また二次試験の土俵に立っているような自己採点結果だったことに一安心しています。僕は二次試験の対策にほとんどの時間を割いていたので、共通テスト対策をしたのは授業内の演習と本番前の二日間だけでした。そのため不安はあり、本番一日目は胸が痛む程緊張しました。その中で、概ね見込み通りの結果になって本当によかったです。ここからは共通テスト終了まで僕が大切にしていた、「目の前のことを一つずつ着実にこなす」ということについて書きます。本番の前日までは「とりあえず試験場に無事到着出来たら勝ち」と思うようにしていました。忘れ物などで0回戦敗退（実際はそうでもない）さえ避けられればよいと、ハードルを低くして考えていました。本番の大緊張の中でも焦りすぎず着実にこなせたので、僕はこの考え方には助けられたような気がします。また、誰かの参考になるかも知れません。ひとまず共通テストは無事通過できそうなので、今度は二次試験を見据えつつ、着実に取り組んでいきます。

国公立大学（農学部志望）

本当に緊張しました。一日目の朝はお腹が痛くて、勉強もままならなかったです。受験票の写真にシールを貼るとき、手が震えてずれてしまいました。しかし、だんだんと自分を俯瞰できるようになってきました。途中で「来年の受験生はこれを過去問として解くのだな」と思ったり、「これで予想問題も作りやすくなって、実用的文章の勉強がしやすくなる」と思ったりして、あー！集中しないと!! となりました。前日の校長先生の、ゆつくり大きく歩くというアドバイスが本当に効きました。焦ってこけてしまったり、やけどしそうになったりしましたが、そんなときに校長先生の「ゆつくり落ち着いて」という言葉を思

い出すようにしました。後輩のみなさんに聞いた言葉は、「ゆつくり落ち着いて」ということです。歩く速度を落とすと気持ちが悪くなり着きます。また、一日目の夜は意外と時間がありませんでした。ぎりぎりしようと思ってもできないかもしれないので、準備をしっかりとって落ち着いてください!!

国公立大学（工学部志望）

共通テスト二日間を振り返って感じたことは、とにかく怖かったということです。私は共テ前日の夕方くらいに体調が悪くなりました。「明日、自分の実力が発揮できないのではないか」「これまでやってきたことが無駄になる」などさまざまな不安が襲ってきました。そんな中で両親の励ましがとても助けになりました。やはり親はとても頼りになると改めて実感しました。そして、共テ当日の朝にはなんとかコンディションをつくることができ、なんとか共通テストを乗り切ることができたので、まずはその自分を称えたいです。自己採点の結果は第一志望の大学のボーダーに達していませんでしたが、自分の志望する大学は二次の方が配点が高いため、それほど悲観的にならなくて良いと切り替えました。後輩の人たちも、共通テストで気落ちするのではなく、二次に向けて全力で努力してほしいです。

国公立大学（医学部志望）

本番と聞くとか今までと違う特別なもののようにも感じたけれど、実際に試験を受けてみるとこれまでの共テ模試や共テ特編と何ら変わらないように感じた。自己採点の結果も普段より取れた科目、取れなかった科目の両方があったけど、結局普段の模試と同じような結果に落ち着いた。共通テストを受けて、本番で一番大切なことは「切り替え」だと思う。この切り替えは科目ごとの切り替えでも

あるし、その科目の中の問題の切り替えでもある。うまくいかなかった教科があったとしても普段通りの点数が取れたのは、終わった科目のことは気にせず、次の教科に集中するようになったからだと思うし、大事故の科目がなかったのも、分からないところは捨てて取れるところをぎゅぎゅ取っていきこうという姿勢で挑んだからだと思う。共通テストは特有の問題傾向があり、その形式に慣れることや共用のテクニックを身に付けることで得点は伸びるとは思うけれど、1、2年生は普段の授業や定期テストをきっちりやってほしい。自分の場合、授業や定期テストで基本事項をある程度定着させていたから、共テに必要な技術もひっかかることなく身に付けられたように感じる。部活等で忙しい人も基本事項を徹底してやることを大切にしてほしい。

国公立大学（商学部志望）

第一回の特編から徐々に点数が伸びて自信をもった状態で挑みましたが、本番はやつぱり緊張して思い通りの点数はとれませんでした。特に得点源としていたリーディングで焦っていつも通り解くことができず、結果点数も低かったことが残念でした。しかし、次のリスニングでうまく切り替えられたのと、一日目が終わった後にダメだったところを振り返らなかつたので、他の教科にまでネガティブな気持ちをもちこまずに済みました。本番の緊張は想像以上なので、普段通りの判断をすることがまず難しいです。そのことを念頭におくこと、できなかつた場合の切り替えがとても大事だと思いました。また、一日目が終わったあと、早く帰っても二十時過ぎで、二日目の勉強をやる気力はありませんでした。前日は何もできないことを想定して直前の勉強計画を立てるべきだと思います。私は帰って全く勉強せずに寝て、朝五時半に起きて直前の復習をしました。

国公立大学（経済学部志望）

今までの共テ模試で良い成績が取れていたのに、いつも通りやれば大丈夫だと思っていたけれど、共テの前日はやはり不安になった。部活の大会で、自信があつたのに最後の最後に失敗した思いがフラッシュバックして、悪い結果しか想像できなくなり、なかなか寝られなかつた。当日の朝は、「ただの模試だ」と自分に言い聞かせて、何とか冷静さを取り戻すことができたけれど、苦手な国語が全く分からず、また焦りが出てきて文章が全く頭に入らなかつた。次、次の教科への切り替えが大事だと言う先生の話を思い出して、満点だと言い聞かせるようにした。そうしたこと、次の英語でも、二日目の教科も、いつも通りの実力が出せた。また、二日目には、試験開始直前に目を閉じて、いつもの教室の様子をできるだけ具体的に思い出そうようにしたことでも落ち着いて解くことができた。一日目が終わって、どんなに手応えがなくても、満点だと思い込んだことがその後の教科の高得点につながつたと思う。

国公立大学（外国語学部志望）

共通テスト二日間を通して、改めて友達や先生、先輩、家族など、周りの人の支えのありがたさに気付かされた。特にクラスの友達、演習のときから励まし合ったり、お互いの勉強法を共有したりしながら高め合うことができたし、演習はかりの毎日でも友だちとくだらないことで笑えることがずっと心の支えになっていた。当日も、私の友達も誰も「不毛な会話をせず、先生の名言「粛々と」を互いに言い合ったり、昼休みにラジオ体操をしたりして次の科目に切り替えることができた。ここがゴールではないので、周りの人の応援を追い風にして、ここからさらに加速して最後まで駆け抜きたい。

強く逞しく

三年前、令和四年四月八日、期待と不安の入り混じった表情で、君たちは岐阜高校に入学した。月日が経つのはまさに光陰矢の如し。本日卒業を迎えた。本当にあっという間だった。

この三年間で、様々な経験をし、様々な思いを抱いたことと思う。決して順風満帆なときばかりではなかっただろう。振り返れば、「あの時もっと勉強していれば……」「学舎であの子に告白していれば……」「試合中のあのプレーが……」などと思うことがあるのではないか。人間、後悔は尽きないものだ。私は「後悔の無い人生」なんて無いと思っている。「後悔する」ということは、より良く在りたいという思いの裏返しであり、前を向き今後をより良く歩んでいくことにプラスになることではないだろうか。自らを振り返れば、四十余年の人生、後悔の連続である。大事なことは、「後悔する」ことのみで立ち止まらず、改善策を練り、思いを新たに次へ歩みを進めていくことであると思う。人生は一度きりであり、時間は待つてくれないのだから。そして、岐高の校訓「百折不撓」にも同じ意味が込められているのだと思う。君たちの人生にはこの先も、様々な挑戦や選択があるだろう。「後悔する」ことを恐れず、自分の思いを大切に、突き進んでいてほしい。

タンポポという植物がある。春先になると堤防などで白や黄色の花を咲かせ、白い綿毛を飛ばす様は、君

3年次主任 覺田 敬

たちにもなじみ深いだろう。英語名「dandelion」はフランス語の「Tentation(ライオンの歯)」が語源で、ぎざぎざの葉っぱの形が百獣の王の歯を想起させることが由来らしい。そして、ライオンのイメージのとおり、タンポポも強く逞しく生命力に溢れる植物である。冷たい風雨に負けず、踏まれても耐え、時にはアスファルトのヒビの間からも花を咲かせる。綿毛は風に乗って飛んでいき、行き先は選べない。でも、辿り着いた場所が厳しい環境であっても、またそこで花を咲かせる。「百折不撓」の植物だ。

卒業する君たちもこの先、タンポポのように力強く逞しく生きていつてほしい。どんなに願っても努力しても自分の力だけではどうにもならず、叶わないこともあるだろう。でも、そこで「後悔する」だけで立ち止まってしまう、どんなにもがいても悩んでも、また陽は昇るだろうと歯を食いしばって生きていける強さをもってほしい。君たちが風に揺られるながら力強く咲き誇っている姿が見られることを願っている。

最後に、君たちに出会えたこと心から感謝している。そして、三年間ともに過ごせたことは私たちの誇りだ。卒業おめでとう。また会える日を楽しみにしている。



3年間皆勤者(合計47名)

1組	岩田奈々未	中根久里菜	深草 琴音	若原 千大	
2組	浅井 大蓉	江口 陸斗	大平 智司	金森 立樹	大道 一輝
	常川 桃花	武藤 駿佑			
3組	秋元千愛樹	梅影 紗也	久世 結心	久雷 仁史	後藤 萌佳
	近藤 吉昭	清水 結葉	田中 怜		
4組	浅井 咲人	市川 璃乃	加藤 佑一	佐藤 陽斗	澤田 咲子
	巽 愛加	永田 倖士	廣瀬 敬慈	森 俊和	
5組	井上 一生	高橋 蘭	丁山 瑛太	安田 美結	
6組	栗野 智暉	香田 倫果	野田 直汰	林 佳奈	松本 友奈
7組	大久保優樹	清水 咲希	清水 琉生	長屋 美佑	
8組	關口 春琉	遠山 爽陽	牧田 陽輝		
9組	内山 悠汰	高瀬 凌太	若原 由侑		

同窓会幹事	1組	○片岡虎太郎・高田 陽平	6組	可知 裕基・星野 駿介
	2組	丹羽 菜月・吉田 百菜	7組	雷永 実希・長屋 美佑
	3組	田中 怜・柳澤多佳来	8組	◎關口 春琉・吉澤 志音
	4組	佐藤 陽斗・林 龍星	9組	青木はるわ・栗本 晃矢
	5組	井上 一生・辻本 悠貴		

◎：幹事長 ○：副幹事長



グローバルリーダー養成事業

職業・学問体験プログラム

11月15日(金)

岐阜県職員の仕事説明会

講師：宗宮侑香氏、林宇慶氏

本校卒業生のお二人から県職員の仕事(専門職・行政職)について話をうかがった。地方行政の仕事をも具体的に知ることができた。

教育系

11月21日(木)

講師：井上雄也氏、神谷有輝氏

本校卒業生のお二人(小学校教諭・高校教諭)をお迎えし、教職員の仕事内容、教職員になるための進路選択についてお話しいただいた。

生命環境系

12月4日(水)

希少種の保護と外来種の駆除

名和昆虫博物館では、昆虫を通して生態系を考える意義や視点について、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふでは、魚類の遺伝子攪乱リスクについて学んだ。

生命環境系

12月27日(金)

人類の起源と進化について

日本モンキーセンターを訪問した。飼育されている猿を見学し、人類の起源と進化について講話を拝聴した。

国際交流体験プログラム

12月13日(金)

「財務官僚の見た国際金融の世界」

講師：上村晃嗣氏(世界銀行日本理事代理)
世界銀行の組織や、世界経済に果たす役割、また、日々の業務と今日に至るキャリア形成の過程などをお話しいただいた。

12月16日(月)

「2024年米大統領選挙の結果とアメリカの展望」

講師：養原俊洋氏(神戸大学大学院教授)
米大統領選挙の結果からわかる民主主義の脆弱さ、アメリカの未来と世界への影響について話していただいた。

12月17日(火)

「ジェンダーの視点から未来を創る」

講師：永井曉子氏(日本女子大学現代女性キャリア研究所 長・人間社会学部教授)
中村美月さん(田園調布学園高等部)

永井氏からは、日本のジェンダー・ギャップ指数の低さの要因について、現役高校生の中村さんからは、海外で事業化を進めるビジネスモデルについて学んだ。

デジタル人材育成プログラム

11月5日(火)

「今から始める！ AI時代に求められるスキルの磨き方」

講師：美馬のゆり氏(公立ほこたて未来大学教授)

AIとの共生社会で重要になるのは、私たち自身の価値観であり、倫理観であることがわかった。

11月6日(水)

「生成AIの時代に何を学ぶべきか」

講師：今井翔太氏

(株式会社Genesis AI代表取締役社長/CEO)
ニユールネットワークや深層学習等のAIの基本的な仕組み、最新のAI技術と課題についてお話しいただいた。

11月13日(水)

「脳科学者茂木健一郎先生と語る会」

講師：茂木健一郎氏(脳科学者)

脳科学の立場から「知性」をどう理解すべきか、また、AI技術の可能性に関して、倫理的な視点の必要性を話していただいた。

12月5日(木)

「スポーツを科学する！」

講師：山本裕二氏(新潟医療福祉大学教授)

横山慶子氏(名古屋大学総合保健体育科学センター准教授)
スポーツ選手が動作を最適化し、パフォーマンスを向上させるための方法を、データに基づいて説明していただいた。

12月6日(金)

「高校数学で学ぶマーケティングの世界」

講師：加藤諒氏(橋大学ソーシャルデータサイエンス学部准教授)
高校数学の関数や微分が、マーケティングにおける消費行動の予測や適正価格の算出に活用されていることを学んだ。

基調講演会

11月8日(金)

「カウンセラーという仕事について ～生きることを支援する～」

講師：信田さよ子氏(原宿カウンセリングセンター顧問)

臨床心理士として長年幼児虐待やDVに向き合ってきたご経験についてお話しいただいた。

第二回・第三回

学校運営協議会報告

教頭 高田 剛

学校運営協議会は、学校外の各方面の皆様からご意見を伺うことにより、開かれた特色ある学校づくりを推進するために開催するものです。

第二回には、生徒及び保護者の学校評価アンケート結果についてご意見を伺うとともに、岐阜高校のスクール・ミッションについて意見交換を行いました。また、コミュニケーション能力等の育成を目的に、今年度から実施している「演劇ワークショップ」を参観していただきました。

第三回には、今年度の学校での取組(学校経営・学習指導・生徒指導・進路指導)における質疑を行い、来年度の取組の方向性などについてもご意見をいただきました。また、留学を経験した二年次生三名と懇談を行い、グローバル人材の育成等についてご意見を伺いました。

主な質疑・ご意見・ご提言の内容

【第二回より】

●意見①：小中学校ではベーパーレスが進んでおり、保護者は学校からの連絡を、子供を通さず、直接スマホ等で確認する習慣が広がっている。

●意見②：今の時代に大切なのは共創である。その下地を高校時代に身につけてほしい。

【第三回より】

●意見①：情報モラル教育はどのように推進していくのか。

↓情報モラル教育は、「日常モラルの育成」と「情報技術の特性の理解」を組み合わせて繰り返し指導している。新入生に対するガイダンス、情報モラル講話のほか、担任等による日常的なモラル指導も重視している。

●意見②：社会的な問題を取り上げ、生徒が社会に対して貢献できることを考える機会をつくってほしい。

●意見③：留学は非常に良い経験であると思うので、学校は生徒が海外に行く機会を提供してほしい。

【学校運営協議会委員】

- ・西津 貴久(会長) 岐阜大学 教授
- ・安田洋一郎(副会長) 本郷自治会 副会長
- ・伊在井みどり 岐阜県医師会 会長
- ・伊藤 知子 PTA副会長
- ・高木 敏彦 岐阜県教育文化財団 理事長
- ・中村 二枝 岐阜市保健衛生部長兼保健所長

【学校参加者】

- ・学校長
- ・事務部長
- ・教頭
- ・教務部長
- ・生徒指導部長
- ・進路指導部長

部活動の主な成績・活動 (2月14日現在)

体育系

部名	活動・試合結果など
硬式野球	第107回全国高等学校野球選手権大会に向けて、練習に励んでいます。オフシーズンはスボゴミ出場、野球教室など地域貢献活動も行っています。
陸上競技	第63回地区駅伝 男子3位 塚本(1年)中島(2年)正木(2年)横井(2年)真喜(1年)奥村(2年)
サッカー	県高校新人大会岐阜地区予選 岐阜 12-0 麓谷 岐阜 2-0 加納 岐阜 1-0 各務原西 岐阜 0-2 岐阜工業 県高校新人大会 岐阜 1-0 郡上 岐阜 0-4 大垣日大
バレーボール	県高校新人大会岐阜地区予選 男子 岐阜 2-0 麓谷 岐阜 2-0 岐阜東 県大会出場 女子 岐阜 0-2 富田 地区予選敗退 県新人戦 男子 岐阜 2-0 加茂農林 岐阜 0-2 大垣日大 ベスト16
バスケットボール	岐阜地区新人戦 男子：3回戦 岐阜 61-49 岐阜城北 準々決勝 岐阜 76-35 岐南工業 準決勝 岐阜 58-70 岐阜農林 3位決定戦 岐阜 49-60 岐阜総合 女子：1回戦 岐阜 88-35 羽島北 2回戦 岐阜 123-19 岐阜東 3回戦 岐阜 114-36 各務原 準々決勝 岐阜 21-181 岐阜女子 5-8位決定戦 岐阜 40-70 岐阜総合 7位決定戦 岐阜 50-47 済美 県新人戦 男子：1回戦 岐阜 81-62 可児 2回戦 岐阜 44-78 大垣日大 県ベスト16 女子：1回戦 岐阜 69-58 多治見西 2回戦 岐阜 42-97 高山西 県ベスト16
ソフトテニス	岐阜市民大会(1年生大会) 女子 大下(1年)・河合(1年)第3位 岐阜地区室内大会 男子 葛谷(2年)・福井(1年)ベスト16
水泳	県内外の競技会に参加し、多くの生徒が自己ベスト更新をしています。来年度の県総体、東海総体に向けて日々練習を行っています。
卓球	県高校新人大会(団体) 男子 県ベスト16 女子 県4位 東海新人大会出場
バドミントン	岐阜県バドミントン選手権大会 複2部 女子A 林(2年)・川瀬(1年) 優勝、鈴木(2年)・白木(1年) 準優勝 男子B 柴田(2年)・河村(2年) ベスト8
柔道	岐阜地区高校柔道新人大会 男子66kg級 第3位 兼松祐哉(2年) 男子81kg級 第2位 遠藤健心(1年)
剣道	地区総合体育大会 男子団体 1回戦 岐阜 0-2 市岐南商 女子団体 1回戦 岐阜 1-1 (代)岐阜北 男子個人 古山(1年)ベスト8 県新人大会 男子団体 1回戦 岐阜 1-2 大垣東 女子団体 1回戦 岐阜 3-2 東濃実業 2回戦 岐阜 0-4 済美
軟式野球	5月の春季大会、6月の東海大会に向け、冬季練習メニューで実力の錬成を図っています。
テニス	強化合同ダブルス 男子 ベスト16 村田(2年)・伊藤(1年)、中本・畠山(2年)、井上(2年)・大橋(1年)、高橋(2年)・柴田(1年) 女子 ベスト8 丹羽鞠子・江崎(2年) ベスト16 丹羽鞠香(2年)・常田(1年)、福井・古田(2年) 東海毎日ジュニアテニス選手権岐阜県予選 男子 シングルス ベスト8 村田(2年) ダブルス 準優勝 村田(2年)※ペアは他校 女子 シングルス ベスト16 丹羽鞠香(2年) ダブルス ベスト8 丹羽鞠香・丹羽鞠子(2年)
ハンドボール	令和6年度 新人戦地区予選 1回戦 岐阜 27-14 麓谷 令和6年度 新人戦県予選 1回戦 岐阜 11-17 大垣工業

文化系

部名	活動・試合結果など
美術	題55回羽島市美術展一般の部 デザイン部門 秀作賞 森(2年)、洋画部門 入選 河合(3年)
書道	第29回全日本高等学校書道コンクール 半紙の部 準大賞(準蘭亭序賞) 植山(2年) 鹿野(2年) 画仙紙の部 全日本書道教育振興協会賞 神戸(2年) 立木(2年) 第49回全国高校総合文化祭香川大会推薦作品選考会 最優秀賞・岐阜県代表選出 神戸(2年) 岐阜県高等学校総合文化祭書道展 行草書大賞 立木(2年) 第34回各務原市高校生美術展 優秀賞 山本(2年) 立木(2年) 奨励賞 神戸(2年) 坪井(2年) 西村(2年) 廣瀬(1年) 入選 9名 第55回羽島市美術展一般の部 優秀賞 坪井(2年) 秀作賞 立木(2年) 青年賞 神戸(2年) 中島(2年) 西村(2年) 波多野(2年) 入選 9名 第22回瑞穂市美術展一般の部 奨励賞 小熊(2年) 神戸(2年) 立木(2年) 坪井(2年) 入選 19名
演劇	令和6年度岐阜県高等学校総合文化祭地区合同公演 優秀賞 「Adamas」(回作)
音楽	第39回国民文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024 愛と平和を歌う合唱フェスティバルに参加。 安江病院主催のクリスマスコンサートで慰問演奏を行った 第35回ぎふヴォーカルアンサンブルコンテスト グランプリ 第18回声楽アンサンブルコンテスト 全国大会出場権獲得 第7回東京国際合唱コンクール 予選合格 本選出場権獲得
文芸	令和6年度岐阜県文芸コンクール 部誌部門 第2位 小説部門 第2位 疋田(1年) 第3位 関口(3年) 詩部門 第2位 伊藤(2年) 第4位 黒田(3年) 随筆部門 第1位 高橋(3年) 第4位 黒田(3年) 短歌 第1位 関口(3年)
茶華道	(茶道)卒業生に向けてのお茶会のお稽古に励んでいます。 (華道)池坊の基本スタイルを学びながらの自由な生け花と、シーズン毎の遊心(フラワーアレンジメント)を楽しんでいます。
自然科学生物班	令和6年度岐阜県高等学校総合文化祭 第33回自然科学部系部活動研究発表・交流会 生物分野 優秀賞 第22回高校生・高専生科学技術チャレンジ(JSEC) 動物科学部門 佳作2件 岐阜市ゼロカーボンフェスタ 参加 第13回WPIサイエンスシンポジウム 優秀賞 高校生SDGs水環境サミット 参加 第8回東海地区理科研究発表会 優秀賞 第23回AITサイエンス大賞 自然科学部門 優秀賞、社会科学・地域づくり部門 奨励賞 第22回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞 努力賞 令和6年度岐阜市子どもエコクラブパネル展 参加予定(ぎふメディアコスモス3月14~24日) 令和6年度日本水産学会春季大会 高校生発表 参加予定(北里大学相模原キャンパス 3月29日)
自然科学物理班	缶サット甲子園岐阜地方大会 第3位
自然科学化学班	第68回日本学生科学賞 入選2等(高校化学部門全国5位相当) 第9回はばだけ未来の吉岡彌生賞 最優秀賞 高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業 最終審査会 参加予定(3月9日)
ES	岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会 優秀賞 浅野・石塚・岩田・三間・瀧(2年)
調理	来年度のバザーに向けて日々の活動で腕前を磨いています。文化祭バザーを楽しみにしてください。本年度も講習会を実施し技術の向上を図ることができました。魚講習会(講師:岐阜グラントホテル総料理長 森 義雄氏)
写真	第50回全国高等学校総合文化祭香川大会 写真部門 岐阜県代表決定 細野(2年) 第41回県高等学校総合文化祭 優秀賞 細野(2年) 奨励賞 松久(2年) 伊藤(1年) 安西(1年) 濱地(1年) 第34回各務原市高校生美術展 優秀賞 近江(2年) 奨励賞 疋田(1年) 入選 11名 準入選 3名 第10回東海地区高校生フォトコンテスト 松野(1年) 優秀賞
囲碁・将棋	【囲碁】 第44回東海地区高等学校囲碁選手権大会 男子個人 5位 大熊(2年) 女子個人 3位 石川詩(2年) 男子団体 3位 大熊、小川翔、伊藤吏 女子団体 3位 石川詩、伊藤光、武藤幸 【将棋】 次年度の大会に向けて、練習に励んでいます。
吹奏楽	第57回岐阜県アンサンブルコンテスト 岐阜地区大会 金賞 木管六重奏、木管七重奏、サクソフォン四重奏、金管七重奏、金管八重奏 銀賞 打楽器四重奏 岐阜県大会 金賞 サクソフォン四重奏 銀賞 金管八重奏 第51回東海アンサンブルコンテスト 銅賞 サクソフォン四重奏 第37回中部日本個人・重奏コンテスト サクソフォン四重奏出場
クイズ研究	第18回 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」岐阜大会 優勝 森島(2年)・馬淵(2年)、3位 神谷(1年)・水野(1年) ※森島・馬淵組は岐阜県代表として2月下旬の全国大会に出場
チアリーダー	来年度に向けて、今までの振り付けに磨きをかけて新しい振り付けを覚えたりして、練習を続けています。

局

部名	活動・試合結果など
図書	カウンター業務のほか、図書館運営のための様々な仕事を行っています。図書館や本に親しんでもらえるよう、毎月図書館だよりを作成し全校生徒に配付しています。12月3日に店頭選書を実施し、図書館に入れるとよい本を選びました。
放送	お昼の放送を充実した内容にしよう日々努力しています。

音楽部 第27回 演奏会

- ◆とき 令和7年3月27日(木) 18:00開演(17:30開場)
- ◆ところ OKBふれあい会館 サラマンカホール
- 第1部 今年度のあゆみ
- 第2部 参加型合唱企画 / 第3部 卒業生と共に

入場無料

吹奏楽部 第19回 定期演奏会

- ◆とき 令和7年5月4日(日・祝) 13:30開演(13:00開場)
- ◆ところ 不二羽島文化センター スカイホール
- 第1部 クラシックステージ
- 第2部 ポップスステージ / 第3部 OB合同ステージ

入場無料